

《履修上の留意事項》【面接授業と遠隔授業の併用実施】

《担当者名》講師 / 井上 貴翔 山田 桃子

【概 要】

大学生活や社会生活では、他者との円滑なコミュニケーションが求められる。また、大学生には研究や調査、学習の成果をまとめ、レポートや論文として提出することも求められる。そのいずれにおいても重要となるのが、他者に対して自らの意見や考えを伝えるうえで必須の能力である文章表現力であるが、本講義ではそのための基本的な力——具体的には、文法的、又は慣習的に正しい日本語表現力や文章作法——を学習する。そのうえで、小論文やレポートの基本的作成手順を身につけることを目標とする。

【学習目標】

大学生として必要不可欠になるコミュニケーション能力、特に、言語表現の能力（読解力・要約力・論述力）を身につける。基本的なレポートの作成を正しい手順で行う。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス / 講義目的と履修上の注意	講義の進め方、到達目標、評価方法を概説できる。	井上 貴翔 山田 桃子
2	日本語表記の基本 / 悪文添削	文体 / 話し言葉と書き言葉 / 記号の使用法など日本語表記の基本的なルールについて、演習課題を通して理解する	井上 貴翔 山田 桃子
3	主語と述語 / 文のねじれ	主語と述語の対応関係の重要性について、ねじれた文などの例や演習課題を通して理解する	井上 貴翔 山田 桃子
4	形容詞の使い方 / あいまいな文	形容詞を使う際の注意点、複数の意味に解釈できてしまう文章の修正について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
5	敬語の使い分け	状況に合わせた適切な敬語の使い分けについて、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
6	Eメールの書き方	Eメールの書式やルール、注意点について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
7	手紙の書き方	手紙の書式やルール、注意点について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
8	確認テスト	ここまでの講義内容の理解度を図るための確認テストを受ける	井上 貴翔 山田 桃子
9	事実と意見	事実と意見の差異と両者の重要性について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
10	レポート作成	指定されたテーマについて、レポートを作成する	井上 貴翔 山田 桃子
11	確認テスト解説	返却された確認テストの解説を理解する	井上 貴翔 山田 桃子
12	レポートの作成手順	レポートの基本的な作成手順について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
13	レポートの構成	レポートの基本的な構成について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
14	レポート講評	第10回講義で作成したレポートの添削とその講評を理解する	井上 貴翔 山田 桃子
15	総まとめ	講義の総まとめについて、理解する	井上 貴翔 山田 桃子

【評価方法】

期末レポートによる学習到達度（40％）、確認テストによる学習到達度（40％）、講義で課した課題による学習到達度（10％）、日常の学習意欲（10％）

【備 考】

教科書 ： 毎回、講義時に配付するプリントを用いる。

参考書 ： 必要に応じ、講義内で適宜紹介する。

【学習の準備】

予習として、前回の講義内容で不明な点や質問をまとめ、次回の講義に望むこと。（80分）

復習として、返却された課題における誤字や、文法的な誤りについて必ず確認しておくこと。（80分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を習得するために必要なコミュニケーション能力を修得する（専門的実践能力）。

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。

DP3.疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させるコミュニケーション能力を身につける（自己研鑽力）。

DP4.多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を全部床義歯補綴学の分野で実践するために必要なコミュニケーション能力を修得する（多職種が連携するチーム医療）。

DP5.歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できるコミュニケーション能力を修得する（社会的貢献）。